

ちよだ生物多様性大賞について

1 目的

ちよだ生物多様性大賞は、生物多様性の保全等の活動を顕彰することで、取組みの裾野を一層広げることを目的としています。

2 応募対象者

区内で生物多様性の保全活動等を行っている個人、団体、事業者等

3 選考対象となる活動

- (1) 生物多様性の保全に関する活動
- (2) 生きもののネットワークづくりに関する活動
- (3) 生物多様性の普及啓発に関する活動
- (4) その他生物多様性の推進に資する活動

4 令和7年度の実施状況

(1) 募集期間

令和7年5月1日～11月28日

(2) 周知方法

●広報紙、ホームページ、SNS への掲載

●チラシの配布

- ・出張所・図書館・児童館等の区有施設（27 箇所）
- ・区立小・中・中等教育学校（11 箇所）
- ・区内私立小・中学校（15 箇所）
- ・区内高校（6 箇所）
- ・区内大学（12 箇所）
- ・環境関連施設（8 箇所）
- ・区内事業所【千代田区温暖化配慮行動計画書制度】（約 320 箇所）
- ・生物関連サークル・ゼミ・部活動等（23 箇所）
- ・生物多様性に積極的に取り組む区内事業所（20 箇所）

●イベント・会議への参加

5月20日 副校園長会にて、事例集・チラシの配布及び周知

5月24～25日 「ちよだ・つま恋の森づくり」植樹ツアー

7月12日 北の丸公園生きもの講座にて、参加者にチラシを配布

7月28日 セミ羽化観察会にて、参加者にチラシを配布

8月2～4日 高山市森林体験等ツアーにて、参加者にチラシを配布

- 9月4日 令和7年度第1回生物多様性推進会議での周知
11月8日 ちよだ環境フェアにて、ポスター掲示及び来場者にチラシを配布
11月15日 秋の観察会にて、参加者にチラシを配布

(3) 応募件数

- 4件
うち2件が入賞（「最優秀賞」の該当はなし）

(4) 受賞者

- 入賞 玉井 貴将 様
「小学生が作った千代田区いきもの図鑑」
入賞 石田 晴基 様
「ハイイロゲンゴロウをさがせ」

※ちよだ生物多様性大賞選定委員会（令和7年12月18日）にて決定

(5) 表彰式

令和8年3月 区長より表彰状及び記念品授与

5 表彰制度のさらなる周知について

(1) 委員からの意見（令和7年度第1回生物多様性推進会議議事要旨より一部抜粋）

【意見①】

SNSなどを活用した「写真投稿部門」や区立小学校で配布しているタブレットに小学生向けのマッピングアプリを導入するのはどうか。

【検討結果】

●タブレットへのアプリ導入について

- ・所管課と調整を行ったところ、区立小学校で配布しているタブレットにバイオームアプリを導入することは難しいとのことだった。（学校のタブレットはOSがwindowsであり、スマホ用のアプリを入れるのは技術的に難しい。）
- ・児童や保護者のスマートフォン等にアプリをダウンロードしていただけるよう、さらなる周知を図るとともに、学校用タブレットのシステムリプレース時に、所管課に再度ご意見を共有させていただく。

●SNSなどを活用した「写真投稿部門」の設立について

- ・現在の募集要項でも、普及活動の一環として写真での応募も対象としているため、活動例に明記することで周知を行う。

【意見②】

現在の募集要項では、生きものに直結した取組みに限定されている印象を持たれているのではないかと。企業の環境配慮型の取組みも対象に含めることで、応募の幅を広げることができるのではないかと。

【検討結果】

- ・企業による取組みも対象としているため、募集チラシ等の活動例に取り入れること

でさらなる周知を図る。

(2) 対象となる活動及び今後の周知方法について

- ・対象となる活動に、写真や作文等での応募も可能である旨を提示
- ・対象となる活動に、企業による取組み事例を提示（建物緑化等）
- ・生物多様性プランの実績報告や温暖化配慮行動計画書兼報告書で記載のあった企業及び団体等への個別周知